

土壌医検定と実践で得られた知識

土づくりアドバイザー 株式会社野菜くらぶ 玉田明日美

1.野菜くらぶについて

野菜くらぶは、群馬県赤城山の中腹にある昭和村に本社があります。

経営理念として「感動農業 人づくり 土づくり」を掲げています。感じて動く事を大切に、より良い土作りをする事で人も心身ともに健康な人になっていくという理念のもと、生産者、事業本部が一体となって栽培、販売に取り組んでいます。栽培内容は品目、生産者によって異なりますが、基本は特裁基準の範囲内で栽培しており、健康な野菜をお届けできるよう励んでいます。

産地は静岡県、青森県などにもあり、各地の生産者が丹精こめて栽培した野菜を生協、スーパー、仲卸などのお客様にお届けしています。独立支援プログラムという非農家出身の方が農家として独立できるよう組まれたカリキュラムがあり、ベテランの生産者さんから、意欲のある若い生産者まで年齢層が広いのも特徴です。

2.受験のきっかけ

10年ほど前にお客様から土壌診断の情報をいただき、日本土壌協会さんで土壌診断をしていただいた事がありました。そのご縁で2022年からデータ駆動型土作り事業に参加しております。

2022年は群馬県内の圃場だけを対象にしておりましたが、2023年からは静岡県でもサンプリングを行い、土壌診断を実施しています。今まで土壌診断はあくまで生産者個人で行っていましたが、診断結果を見て生産者と土壌に関する会話が増えました。

そういった状況の中で、より土壌について知識を増やしたいという事、生産者とより深い内容を話せるようになりたいという思いから、受験を申し込みました。同じ課の山田さんも一緒に挑戦してくれた事も、心強かったです。

3.試験に向けて

大学では動物を学んでいたもので、畑違いの内容で全く頭に入ってきません。まずは教科書から読み、そこからわからない所をネットで調べて自分の頭で理解できるように情報を整理していきました。ネットは論文のような専門的なものから初心者向けの簡単な内容のものまで情報がたくさんあり、自分の知りたい事にピンポイントでアクセスできるので便利でした。ネットから得た情報を教科書に書き写しつつ、自分なりに区分けした内容をノートに書き出して頭の中を整理するためのシートを作りました。特に役立ったのは過去問でした。簡単なまとめがついている事や、出題傾向がわかる事がとても良かったです。

4.試験

高崎に試験会場があり、半日ぐらいの時間で試験を受けに行く事ができました。高崎に会場があった事で、時間が限られている子育て中の自分でも受験できたので、大変ありがたかったです。

問題に1回も見ることがない言葉が出てきて慌てたのですが、教科書が改訂になっており勉強で使用していた教科書は最新の教科書ではなかったという事が後から判明しました。山田さんも同じ教科書を使用していたのですが、2人とも合格できた事で、基本の重要な所は変わらないという事を実感しました。

5.合格して

土壌診断の結果をいただいた際に自分なりに各生産者の結果を見て、何が問題になっているのか具体的に見つける事ができるようになり、このタイミングで受験できた事が本当に良かったです。土壌協会さんの考察を頂く前に速報値を見て生産者と結果について話ができるようになりました。

野菜くらぶでは、会社が指定した肥料を使用するのではなく、生産者が各自選んだ肥料を使用しています。様々な環境に圃場が散在しており、標高差、地域差があるため、ある意味リスク分散しながら栽培しています。そういった各生産者、圃場ごとに特徴がある中で、診断結果を元に同じ品目の中で良かった圃場、悪かった圃場を比較でき、収量や品質の安定につなげる事が出来るようになってきました。特裁の範囲内という基準を守るためにも、土本来の力を引き出し、より元気な野菜が育つように土の力を発揮させる事が非常に大切であり、皆で土壌診断に取り組む事が、産地のブランド力を上げるものと考えます。

今後は2級合格を狙ってさらに知識を深めたいです。受験で身についた知識を実践で活かしながら、圃場の歩留まりがさらに上げられるよう、経営理念にも掲げられている「土づくり」をバックアップしていけたらと考えております。

